

アフターサービス

本製品の保証期間はご購入日より3年間です。詳細は同梱の製品保証書をご覧ください。製品保証をお受けいただくためには、品番・製造番号・お客様名・工事店または販売店が明記された製品同梱の製品保証書のご呈示が必要です。本製品を設置またはご購入いただいた際は製品同梱の製品保証書に必要事項が明記されていることを必ずご確認ください、紛失しないように保管してください。

修理のご相談はお求めの下記、取付店・販売店へ

取付店・販売店	〒
電話番号	- -

ミナミサワでは取り付け・取り外しが簡単な特徴を活かして、お客様ご自身でも交換できる交換修理をご用意しております。

(株) ミナミサワ ユーザーサポート窓口 ☎0120-474-647

交換修理の流れ

(株) ミナミサワから速やかに交換品（必要な場合は工具も同梱）を発送します。

同梱のマニュアルに従って、製品を交換してください。（作業時間は5～10分程度）

不具合品を同梱の着払い伝票を使ってご返送ください。

※保証期間中は交換修理により製品を無償交換いたします。

※保証期間経過後は交換修理により製品を交換し、不具合品が戻った後修理代金をご請求いたします。但し、製造終了後6年を経過した製品については、アフターサービスをお受けできない場合があります。

製造元	商品名
株式会社ミナミサワ 〒381-0044 長野県長野市中越 1-2-22 http://www.minamisawa.co.jp	自動水栓 水すい
	品番 製造番号
ユーザーサポート窓口 TEL : ☎0120-474-647 または 026-263-3730 (平日 9:00-18:00)	購入年月日
	年 月 日
FAX : ☎0120-263-403 または 026-263-8700 (24時間)	



自動水栓



このたびは自動水栓「水すい」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能が十分に発揮されますよう、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

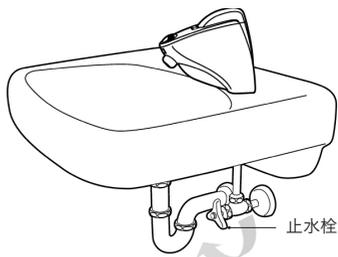
安全上のご注意	1	電池交換	10
仕様・本体寸法図	2	ストレーナの清掃	10
各部の名称	3	使用上のご注意	11
作動のしくみと使い方	4	LED表示の種類	11
取付前のお願い	4	「故障かな？」と思ったら	12
水栓ハンドル部の取外し	5、6	製品保証	13
取付け方法	7、8	品番チェックシート	14
取外し方法	9	アフターサービス	裏面

工事業者様へのお願い 必ずユーザー様へお渡しください。



安全上のご注意

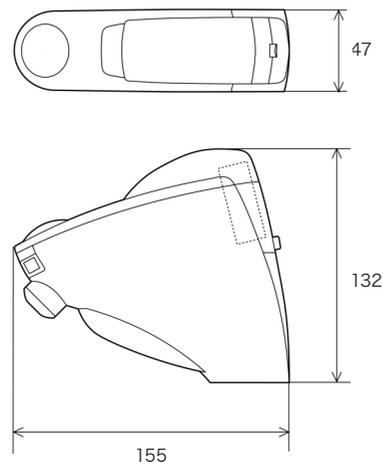
1. 万が一水が止まらなくなった時は、止水栓(右図参照)、または水道の元栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておきますと、漏水による事故の原因となります。
2. 本製品をご自分で分解・修理・改造しないでください。故障または事故の原因となります。
3. 水温40°C以上の水が出る配管には、本製品を使用しないでください。使用しますと、吐水口から熱湯が出てやけどをするおそれがあり危険です。
4. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
5. リチウム電池を充電・ショート・分解・加熱したり、火中に投入しないでください。漏液・発熱・発火・破裂・膨張等の原因となります。
6. 使用済みの電池を廃棄するときは、テープなどを巻き付けて絶縁してから、市町村などの指定された分別廃棄方法に従ってください。



仕様・本体寸法図

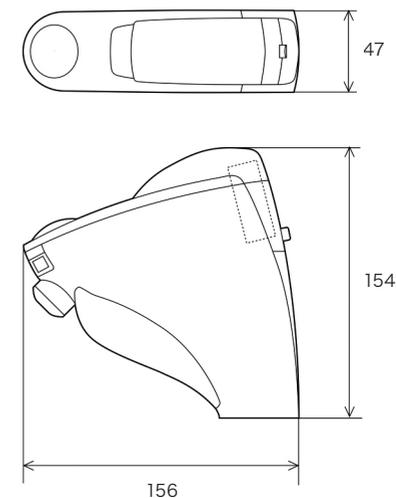
使用電源	リチウム電池 2CR5(DC6V) 1個
電池寿命	1日150回の使用(吐水+止水)で約2年
電池交換告知	赤LEDが点滅
手動吐水機能	手動「出」スイッチを押すと30秒間吐水 手動「止」スイッチを押すと止水
自動吐水停止機能	手動「止」スイッチを3秒以上押すと2分間自動吐水を停止 手動「出」スイッチを1秒以上押すと解除
センサ方式	赤外線反射方式
作動弁方式	パイロット型電磁弁
給水圧力	最低必要水圧 0.05MPa (0.5kgf / cm ²) 最高水圧 0.7MPa (7.1kgf / cm ²)
使用温度範囲	周囲1～50°C、水温1～40°C
外装	ABS樹脂(クロムメッキ仕上げ)

SS1V / SS1VQ



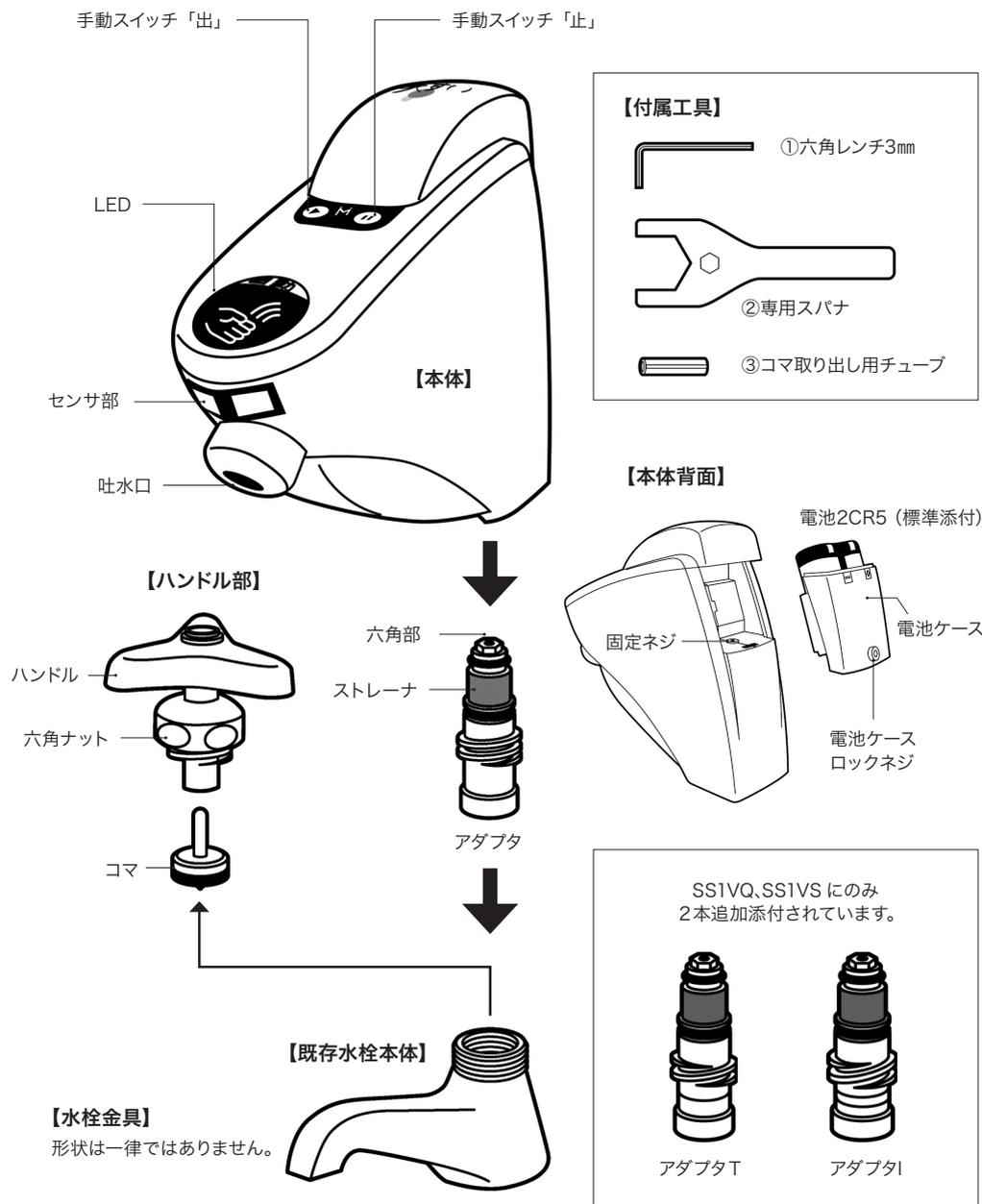
単位/mm

SS1VS / SS1VSQ



単位/mm

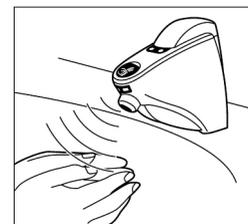
各部の名称



作動のしくみと使い方

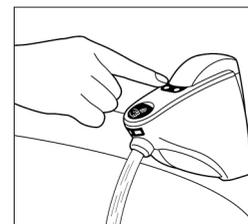
1. 自動吐水

- » 吐水口に手を近づけると、吐水口上部のセンサが感知して水が出ます。
- » 手を離すと約1秒後に止水します。
- » 30秒間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたい場合は、一度手を離してから、再度手を近づけてください。



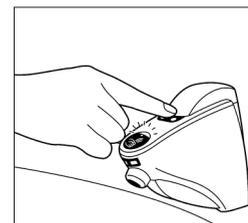
2. 手動吐水

- » 手動「出」スイッチを押すと水が出ます。(30秒後に自動止水)
- » 手動「止」スイッチを押すと止水します。



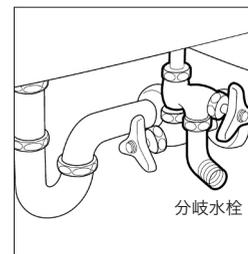
3. 自動吐水停止

- » 手動「止」スイッチを3秒以上押すと、緑LEDが点滅し、自動吐水が2分間停止します。
- » 手動「出」スイッチを1秒以上押すと一度吐水し、その後自動吐水に戻ります。



取付前のお願い

1. お取り付け予定の水栓のメーカーと品番を確かめ、本製品が既存水栓に適合する品番であるかどうか、再度ご確認ください。
2. 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
3. 高温多湿な所では使用しないでください。
4. 凍結のおそれのある所では使用しないでください。
5. 上水道を使用してください。中水道や異物を多く含む水を使用しますと、製品の故障原因になるばかりでなく、飲用した場合体調を損ねることもあります。
6. 水温40℃以上の水が出る配管には、本製品を使用しないでください。
7. 本製品取り付け後はホースを使用しての散水等はできません。清掃時ホース等を使用される場合は、洗面台下スペースの配管部に分岐水栓を付ける可能性があります。その場合は、事前に水道工事店様にご相談ください。

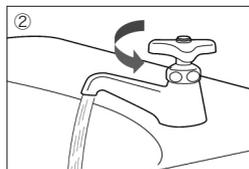
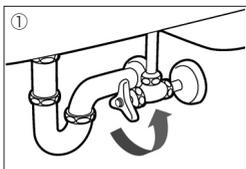


各種水栓ハンドル部の取り外し方法

水栓ハンドル部を取り外す前に必ず行ってください！

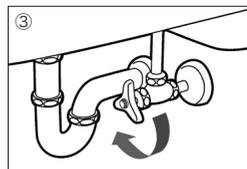
配管のゴミ等を取り除く。

- ① 止水栓を時計と反対方向にまわし、全開にしてください。
- ② 水栓を開けて5～10秒ほど水を流してください。配管途中のゴミ等が流れ出ます。



止水栓を閉じる。

- ③ 止水栓を時計と同方向にまわして閉じてください。



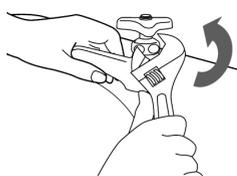
水栓外觀



ハンドル部の取り外し方法

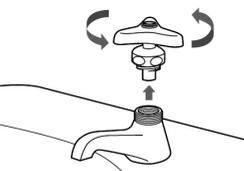
1. ハンドル部の六角ナットを外す。

モンキーレンチをハンドル部の六角ナットにかけ、時計と反対方向にまわして、ネジから外してください。
※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりを押さえて作業してください。



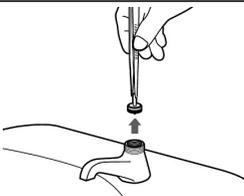
2. ハンドル部を取り外す。

ハンドルを、手で時計と反対方向にまわして取り外してください。



3. コマを取り出す。

水栓本体に残っているコマを、付属のコマ取り出し用チューブを使って取り出してください。
※コマがハンドル部と一体になっている吊りコマ式の場合は、この作業は不要です。

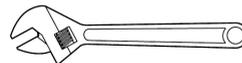


水栓ハンドル部取り外しに必要な工具

外した部品は保管願います

モンキーレンチ

付属の専用スパナでも代用できます。



ピンセット

付属のコマ取り出し用チューブでも代用できます。



マイナス精密ドライバー

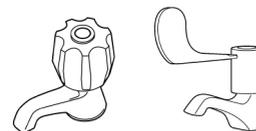


プラスドライバー



取り外したハンドル部・コマは、製品に同梱されている保管用ポリ袋に入れて保管しておいてください。必要に応じて、元の立水栓に戻すことができます。

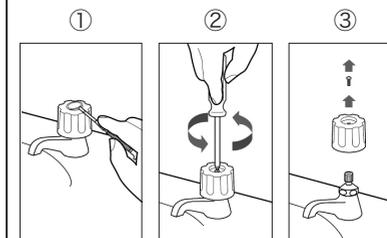
水栓外觀



ハンドル部の取り外し方法

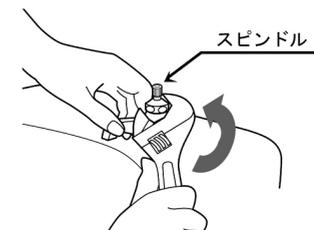
1. ハンドルを取り外す。

- ① ハンドルを全開にしてください。
- ② マイナス精密ドライバーで、ハンドル中央のフタを取り外してください。
- ③ プラスドライバーで、ハンドル中央のネジを時計と反対方向にまわして外してください。
- ④ ハンドルを取り外してください。



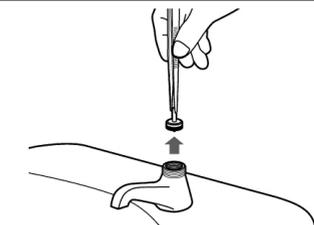
2. スピンドルを取り外す。

モンキーレンチを六角ナットにかけ、時計と反対方向にまわしてネジから外し、更にスピンドルを時計と反対方向にまわして取り外してください。
※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりを押さえて作業してください。



3. コマを取り出す。

水栓本体に残っているコマを、ピンセット等を使って取り出してください。
※コマがハンドル部と一体になっている吊りコマ式の場合は、この作業は不要です。



取付方法

STEP1 アダプタを取り付ける

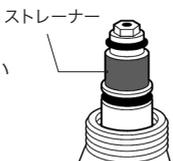
①空の水栓本体にアダプタを差し込んで、手で時計と同方向にネジ込んでください。

※アダプタが3本付いている場合は、それぞれを水栓本体にネジ込んでみて、取り付けられる1本をご使用ください。

②専用スパナの六角穴をアダプタ上部の六角部に差し込み更にネジ込み、しっかり固定してください。

※水栓本体と一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかり押さえて作業してください。

ポイント! アダプタ取付後、ストレーナの位置をご確認ください。ストレーナがずれていきますと、本体装着時に支障をきたすことがありますので、ご注意ください。



必要な工具

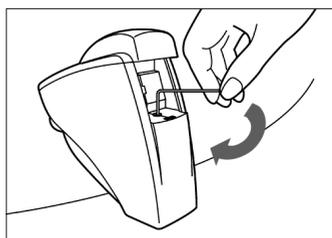
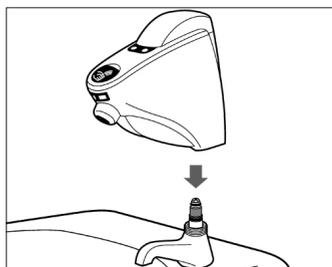
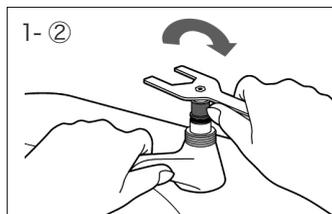
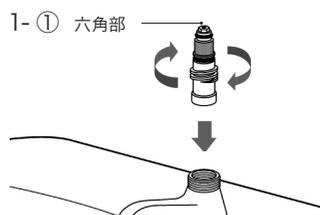
付属の専用スパナ



(無い場合はモンキーレンチで代用)



付属の六角レンチ3mm



STEP2 本体を装着する

本体をアダプタに差し込んでください。このとき、水栓本体は覆い隠され、見えなくなります。

ポイント! 水栓の吐水口が回転する場合は、吐水口を上に向けてから本体を取り付けてください。



STEP3 本体を固定する

付属の六角レンチで、本体後ろ側にある固定ネジを時計と同方向にまわして締め、本体を固定してください。

※最後は六角レンチの短い方で更に締めてください。長い方では締め付けられないでください。長い方で強く締めすぎるとレンチの先端部分(樹脂)が破損します。

ポイント! 固定ネジを締めても本体がグラグラする場合は、アダプタの固定(上記1-②)が不完全です。本体を外し、再度、アダプタをしっかり締め固定してください。

STEP4 電池をセットする

①付属の電池を電池ケースに挿入してください。

※このとき、電極の+の位置にご確認ください。

②本体後ろ側の電池装着口にセットしてください。

※電池ケースロックネジを指で軽く押し上げながらセットしてください。

③ネジの頭を下に下げます。

使用可能状態の確認

電池をセットすると、直後オレンジLEDが約2~5秒間点灯します。これは、センサが感知距離等を確認している状態です。確認終了とともにオレンジLEDが消え、使用可能状態になります。

オレンジLEDの点灯が消えず点滅に変わった場合は、センサが手洗器・洗面器などの“何か”を感知している状態です。

その場合は…

1. センサ感知距離内にある障害物を取り除いてください。
2. センサが手洗器・洗面器を感知しないよう、本製品の向きを左右どちらかに少し変えてください。
3. 上記(1)(2)の方法で解決しない場合は、ユーザーサポート窓口までお問合せください。

STEP5 電池ケースをロックする

電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と同方向にまわして締めてください。

※電池ケースロックネジは、軽く締め付けるだけで結構です。強く絞めすぎると電池の取り外しに支障が出る場合がありますのでご注意ください。

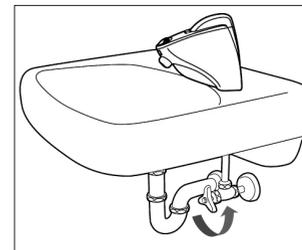
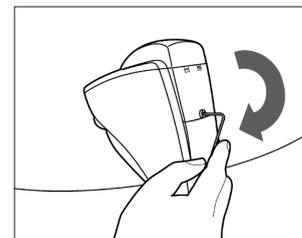
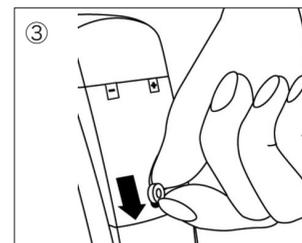
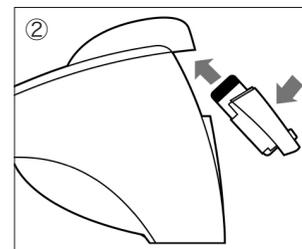
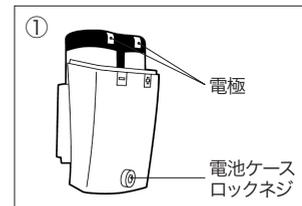
STEP6 止水栓を開ける

止水栓を時計と反対方向にまわして開けてください。

※止水栓を開けた直後に一度吐水することがあります。

※取付後は、既存の蛇口からは吐水しません。

吐水量の調節: 吐水量は、止水栓をまわして調節します。



取り外し方法

STEP1 止水栓を閉じる

止水栓を時計と同方向にまわして閉じてください。

STEP2 電池を取り出す

①本体後ろ側にある電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向に2~3回転まわして緩めてください。

※ロックネジは緩めるだけで、取り外さないでください。

②電池ケースロックネジを指で上に押し上げながら、電池ケースごと電池を取り出してください。

STEP3 固定ネジを緩める

本体後ろ側にある固定ネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向にまわし、空回りするまで緩めてください。

STEP4 本体を取り外す

本体を両手で持ち、そのまま真上に持ち上げるようにして取り外してください。

STEP5 アダプタを取り出す

専用スパナの六角穴をアダプタ上部の六角部に差し込み時計と反対方向にまわして緩め、アダプタを取り外してください。

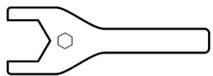
※水栓本体が一緒にまわらないよう、手で蛇口をしっかりと押さえて作業してください。

立水栓への復旧

長期間使用しない場合や、万が一、自動吐水が正常に行なわれず通常の使用に支障をきたした場合など、必要に応じて本体を取り外し、元の立水栓に戻すことが出来ます。

その場合は、P5、6の「各種水栓ハンドル部の取り外し方法」を参照し、その逆の手順でコマ、ハンドル部を取り付けてください。

必要な工具

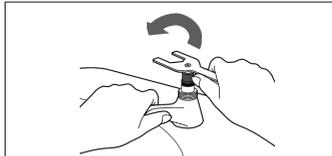
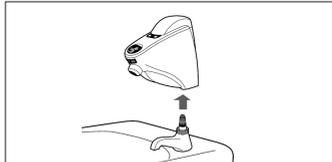
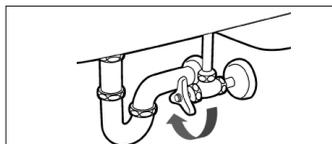


付属の専用スパナ

(無い場合はモンキーレンチで代用)



付属の六角レンチ3mm



電池交換

使用している電池は、リチウム電池(2CR5)です。
カメラ店・ホームセンター・電化製品量販店などでお買い求めいただけます。

電池が消耗し電圧が低下すると、赤LEDが点滅してお知らせします。このサインが出たら、早めに電池を交換してください。

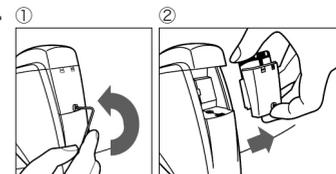
※上記の電池交換表示が出てもしばらくは通常動作を続けますが、やがて動作が停止します。電池を交換することで復旧します。

STEP1 電池を取り出す

①本体後ろ側にある電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と反対方向に2~3回転まわして緩めてください。

※ロックネジは緩めるだけで、取り外さないでください。

②電池ケースロックネジを指で上に押し上げながら、電池ケースごと電池を取り出してください。



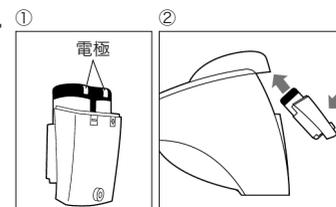
STEP2 新しい電池(リチウム電池2CR5)をセットする

①新しい電池を電池ケースに挿入してください。

※このとき、電極の+の位置にご注意ください。

②本体後ろ側の電池装着口にセットしてください。

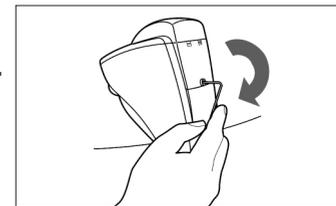
※電池ケースロックネジを指で軽く押し上げながらセットしてください。



使用可能状態の確認 → P8「取付方法」STEP 4参照

STEP3 電池ケースをロックする

電池ケースロックネジを、付属の六角レンチで時計と同方向に締めて、ロックしてください。

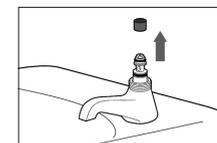


ストレーナの清掃

ストレーナにゴミ等が詰まると水の出が悪くなります。その場合は、下記の要領でストレーナを清掃してください。

1. 本体を取り外す。→ P9「取り外し方法」参照
2. アダプタに付いているストレーナを取り外す。
3. ストレーナを歯ブラシなどで擦りながら水洗いし、ゴミや汚れをよく落とす。
4. きれいになったストレーナをアダプタに取り付ける。
5. 本体を取り付ける。

→ P7、8「取付方法」参照

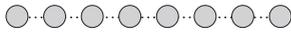
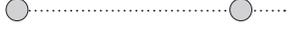


使用上のご注意

- 本製品は電子機器です。丁寧に扱い、衝撃等を与えないでください。
- お手入れの際は、次の点にご注意ください。
 - 汚れは乾いた布、または水をよく絞った布で拭いてください。
 - 酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー類は使用しないでください。外装が傷ついたり、化学変化を起こして変質・変色します。
 - 本製品をナイロンたわしやブラシ等でゴシゴシ擦らないでください。外装が損傷します。
- センサ部の汚れは、誤作動の原因となります。センサ部が汚れたら、やわらかい布で拭き取ってください。



LED 表示の種類

色	LED 点灯・点滅表示	表示内容
オレンジ	2～5秒間点灯	電池セット直後に点灯します。これは、センサが感知距離等を確認している状態です。確認終了とともに消え、使用可能状態になります。
	約0.5秒間隔で点滅 	電池セット後、センサが手洗器・洗面器などの“何か”を感知しているため、感知距離等が確認できず、点灯から点滅になった状態です。 →P8「取付方法」STEP4 <使用可能状態の確認> 参照
赤	約1秒間隔で点滅 <電池交換告知> 	電池交換告知です。電池が消耗し電圧が低下していますので、早めに電池を交換してください。
	約2秒おきに3回連続点滅 <電池交換告知(動作停止)> 	電池が完全に消耗し、動作停止状態になりました。電池を交換してください。
緑	約2秒間隔で点滅 <自動吐水停止中> (時間経過とともに点滅間隔短くなる) 	手動「止」スイッチを3秒以上押して、自動吐水が停止した状態です。手動「出」スイッチを1秒以上押すと自動吐水停止状態が解除され、点滅も止まります。自動吐水停止状態は、最長2分間継続しますが、解除までの残り時間が少なくなるにつれて点滅間隔が短くなります。
	約8秒おきに2回連続点滅 	自動吐水状態が30秒間続いて吐水が停止した状態です。センサ感知距離内にある障害物を取り除いてください。また、洗面ボールに水がたまっている場合は、いったん水をはらってください。
	約8秒間隔で点滅 	手や物などをセンサが感知して自動吐水を行なっている時に、手動「止」スイッチを押したために、吐水が停止した状態です。そのままの状態でも吐水を再開したい場合は、手動「出」スイッチを押すと通常に自動感知状態に戻り、吐水を再開します。また、センサが感知している手や物などを取り除いても、通常の自動感知状態に戻ります。

「故障かな？」と思ったら

“故障かな？”と思ったら、以下の事項をご確認ください。それでも状況が改善されない場合は、ユーザーサポート窓口 0120-47-4647 へお問合せください。

■ 水が出ない

状況	原因	処置
赤LEDが点滅	電池消耗	電池を交換してください。→P10
緑LEDが点滅	自動吐水停止機能作動中	①センサ感知距離内の障害物を取り除いてください。 ②洗面ボールの水をはらってください。
	自動吐水状態が30秒以上続いて吐水が停止した	
オレンジLEDが点滅	センサ感知距離調整不能	①センサ感知距離内の障害物を取り除いてください。 ②本体の向きを左右どちらかに少し変えてください。
LED点滅なし “カチッ”という動作音あり	止水栓が閉じている	止水栓を開けてください。
LED点滅なし “カチッ”という動作音なし	電池消耗	電池を交換してください。→P10
	センサ部の汚れ	ストレーナを清掃してください。→P10

■ 水の出が悪くなった

状況	原因	処置
正常動作、LED点滅なし	センサ部の汚れ	センサ部をよく拭いてください。
	止水栓で吐水を絞ってある	止水栓を開けてください。
	ストレーナが詰まっている	ストレーナを清掃してください。→P10

■ 水が止まらない

処置
①手動「止」スイッチを押してください。→P4
②センサ部をよく拭いてください。
③センサ感知距離内の障害物を取り除いてください。
④洗面ボールの水をはらってください。
⑤上記の処置をして止水はしたが自動感知に戻らない場合は、手動「止」スイッチを約10秒以上、オレンジLEDが点灯するまで押してください。オレンジLEDが消えれば、自動感知に戻ります。

■ 水が漏れる

状況	原因	処置
水栓本体からの水漏れ	アダプタのネジ込み不足	本体、アダプタを取り外し、取り付け直してください。 →P7,8
	アダプタ取付部分にゴミが かんでいる	本体、アダプタを取り外し、アダプタ・水栓本体に付着しているゴミを取り除き、取り付け直してください。
吐水口周囲の水漏れ	吐水口の金具のゆるみ	吐水口の金具を締めてください。

製品保証

製品保証

本製品の保証期間はご購入日より3年間です。

製品保証をお受けいただくためには、品番、製造番号、保証期間、お客様名、工事店または販売店名が明記された製品同梱の製品保証書のご提示が必要です。

本品を設置またはご購入いただいた際は、製品同梱の製品保証書に必要事項が明記されていることを必ずご確認ください、紛失しないように保管してください。

製品保証規定

- 取扱説明書に従った正常な使用状態のもとで故障した場合、ご購入日から3年間は無償で商品を交換させていただきます。
お客様がご購入となった工事店様、販売代理店様あるいは弊社ユーザーサポート窓口までお問い合わせください。
保証期間（3年）以降の交換の場合は有償となります。
- 保証期間内でも次の場合には有償交換または有償修理となります。
 - 取扱説明書に従わない誤った使用、およびお客様自身での修理や改造による不具合および損傷。
 - お買上げ後の落下、衝撃などによる不具合および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変や、凍結・ガス害・塩害による不具合および損傷。
 - 電池の消耗による不具合。
 - 上水道以外の水を使用した事に起因する不具合。(但し、弊社が事前に適正な水質と判断した場合を除く)
 - 配管から流入した、砂・ゴミ・錆などの異物による不具合。
 - 外部の汚れ・錆・メッキはがれなど、機能に影響のない不具合。保証書のご提示がない場合。
 - 保証書の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合。
- お客様のご要望により出張修理(製品交換を含む)を行う場合は、出張に要する費用を申し受けます。
- 本規定は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本規定は、製品不具合によるお客様の二次的損害に関して補償をお約束するものではありません。

※本規定は、保証期間内に明示された条件のもとで、無償交換または無償修理をお約束するものです。したがって、本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

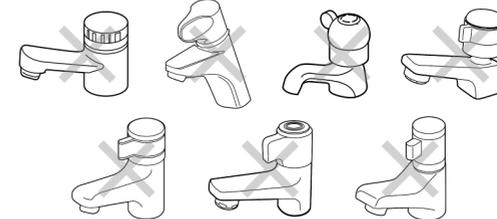
品番チェックシート

本製品をお取付予定の水栓に取り付けられない場合は、当シートにより水栓の種類をお確かめいただき、お手元の本体が水栓に適合する品番であるかどうか、再度ご確認ください。適合品番でない場合は、お買い求めの工事店または弊社ユーザーサポート窓口へご連絡ください。

水すいの品番

SS1 V	SS1 VL	SS1 VS	SS1 VQ	SS1 VSQ
	 <p>TOTO</p> <p>メーカー・品番をご確認ください。TOTO製 TL605A(F)以外には取り付けられませんので、ご注意ください。</p>			
	TOTO製 TL605A(F) 専用	吐水口回転形	ロングレバー式	ロングレバー式 吐水口回転形
規格等：JIS規格 立水栓（呼び13）				

JIS規格立水栓のうち右図のように形状やサイズ等が上図水栓と異なる場合、SS1Vシリーズは取り付けられません。その場合は、既設取替型の自動水栓「シャワリー」をお選びください。



※これらの立水栓は、TOTO製TL605A(F)に形状が類似していますが、本製品は取り付けられません。メーカーまたは品番をご確認ください。